



2022年10月27日

各位

会社名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 荒木 哲也  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 管理部 部長 寺本 直樹  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

### 業績予想の修正に関するお知らせ

2022年12月期第3四半期決算の実績見込み、これを踏まえた今後の事業計画の推移、2022年9月28日付及び2022年10月21日付「連結子会社に対する債権放棄及び特別損失の計上並びに同連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて公表しておりました連結子会社の異動（株式譲渡）に伴う特別損失の計上等を鑑み、2022年8月10日付「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

#### 1. 2022年12月期通期 連結業績数値の修正（2022年1月1日～2022年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 578	百万円 △115	百万円 △111	百万円 △105	円 銭 △35.22
今回修正予想（B）	436	△231	△226	△242	△97.97
増減額（B-A）	△142	△116	△115	△137	
増減率（%）	△24.5	—	—	—	
（ご参考）前期実績 （2021年12月期）	632	△106	△96	△740	△297.74

#### 2. 業績予想修正の理由

通期の連結業績予想の減少要因としては、2022年12月期第3四半期における連結業績の減少に加えて、債務超過といった当社財務状態などによる新規顧客獲得の困難が継続することが見込まれていることによります。債務超過の解消後は新規顧客の獲得が期待できますが、それまでは新規顧客獲得の困難が継続すると予想しています。

上記の減少要因により、前回の業績下方修正時点の予想を上回って新規顧客の獲得が困難であり、またセレクト&セルフ案件の解約件数の増加等特に中小企業へのツール提供に厳しい状況が

続いたため、2022年8月10日付「特別損失の計上および業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しておりました2022年12月末時点におけるアンバサダープログラム導入数は、74件（エンタープライズ24件、セレクト&セルフ50件）から、60件（エンタープライズ25件、セレクト&セルフ35件）となることを見込まれます。

前回発表の予想数値からの減少要因といたしましては、売上高については上記アンバサダープログラム案件の獲得困難、解約による減少の他、連結子会社である株式会社popteamが運営しているインスタグラムのアカウント運用サービス「Digital Panda」における顧客の獲得困難、解約による減少、また後述の株式譲渡をした連結子会社2社（株式会社クリエ・ジャパン及びHAIRSTUDY株式会社）の2022年12月期第3四半期における売上高が前回の業績下方修正時点の予想を上回って減少したことが影響しており、減少額142百万円のうち、アンバサダープログラム案件の減少によるものが77百万円、株式会社popteamに係る売上高の減少によるものが9百万円、連結子会社2社の2022年12月期第3四半期における売上高の減少によるものが56百万円と見込まれます。

また、営業利益の減少要因といたしましては、上記売上高の減少の他、当社のコンプライアンス・コーポレートガバナンス体制の強化に係る費用等について、一般管理費の増加を見込んでおります。

営業利益の減少額116百万円のうち、アンバサダープログラム案件の減少によるものが50百万円、一般管理費の増加額が45百万円、株式会社popteamに係る売上高の減少によるものが4百万円、連結子会社2社の2022年12月期第3四半期における売上高の減少によるものが17百万円と見込まれます。

また、2022年9月28日付及び2022年10月21日付「連結子会社に対する債権放棄及び特別損失の計上並びに同連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」にて株式会社クリエ・ジャパン及びHAIRSTUDY株式会社の株式譲渡を公表しておりますが、本株式譲渡により、特別損失約23百万円（株式会社クリエ・ジャパン株式譲渡に係る特別損失約15百万円、HAIRSTUDY株式会社の株式譲渡に係る特別損失約8百万円）の特別損失を計上し、通期の連結業績予想に含めております。

※通期の連結業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続するものと仮定して作成しております。

以上